

<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">宮古</h1>	<h1 style="font-size: 72px; margin: 0;">ワイドーぱり</h1>	発行所 宮古農林水産振興センター農業改良普及課 〒906-0012 宮古島市平良字西里1125 TEL : 0980-72-3149 FAX : 0980-72-9751
	「活力ある農業」の意味（ワイドー=がんばれ、ぱり=畑）	

地域農業振興総合指導事業 宮古島市のさとうきび栽培➔原点回帰➔

地域農業振興総合指導事業では、令和2年度から各種取組みを実施していますので、活動経過を紹介します。

取組課題	リーダーの育成	栽培技術の向上	農業機械利用促進
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 関係機関との会議 ➢ 課題解決検討会、研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 展示ほ設置 ➢ ホームページ・広報誌・テレビ等で作業効果PR 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 機械利用状況調査 ➢ 作業受託組織の支援

南北大東島での研修

役場・工場・JA・農家が一体となって土づくりを支援している事例などを学んできました。
 例) 土壌分析で土の状態を確認した後、堆肥や製糖残渣の投入を数年間継続!

「さとうきび栽培のポイント」

宮古島市広報誌で、毎月紹介しています。

2月「株出管理」
 収穫後**1週間以内に施肥を!**

3月「新植のための土づくり」
緑肥をまいたり、**堆肥**を混ぜ込んだりして**地力**を高めよう!

心土破碎講習会・実演会

心土破碎の**目的**は耕盤層を破碎して

- ・**排水を良く**する
- ・**根の伸びを良く**する


使う機械は
 ・プラソイラ
 ・サブソイラ
 ・ハーフソイラ等
 破碎機は**40~50cmの深さ**までしっかり入れます

農業改良普及課 ホームページ

さとうきびの栽培管理の目的などを随時掲載しています。ぜひご覧下さい。

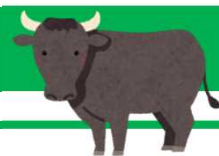
作業管理アプリの試験運用

農業機械士協議会宮古支部役員と連携してハーベスタでの収穫予定ほ場を登録し「作業管理の見える化」に取り組んでいます。Z-GISまたはアグリノートを原料区の一部で運用中(細竹・野原越・友利・長浜)。興味のある方はご連絡ください



アプリの画面例
(アグリノート)

寒地型牧草について



寒地型牧草の紹介

沖縄県で永年利用される暖地型牧草は冬季に生産性が低下するため、周年を通した粗飼料確保は重要な課題となっています。寒地型牧草は冬季の収量を補い、家畜の食いつきの良い自給粗飼料の安定生産のための手段の一つです。

沖縄県飼料作物奨励品種について

本県に適した品種として、寒地型牧草は以下が奨励品種として選定されています。

沖縄県飼料作物奨励品種 (最新版：R3年3月31日)	
草種	品種
イタリアンライグラス	Kyusyu 1
	ヤヨイワセ
	さちあおば
	きららワセ
エンバク	ウルトラハヤテ韋駄天
	九州14号
	アーリーキング
	とちゆたか



写真 寒地型牧草「ヤヨイワセ」

牧草(品種)を選ぶ際は、利用方法(乾草、青刈り等)や病害抵抗性等を考慮する必要があります。
寒地型牧草は、暖冬その他の気象条件により生育が停滞したり、期待収量が低いことがあります。

肉用牛研究クラブの活動状況

発足から10年を迎えた肉用牛研究クラブの事務局として、普及課では学びや交流の場、農家の技術面などの支援を行っています。

9月16日には第2回の定例会を開催し飼養衛生管理基準、家畜排せつ物法、GAPに関する講座や意見交換会を、12月19日の第3回の定例会では、草地管理、家畜ふん堆肥についての講座、現地検討会として県農業研究センター宮古島支所で牧草の新品種候補の試験ほ場視察を行いました。

コロナ禍ではありますが、引き続き活動していきます！加入希望等の問い合わせは宮古農業改良普及課担当までお願いします。

春作オクラの栽培について



オクラは**高温性の植物**です。
温度が十分に確保出来る2月末～3月上旬にかけて作付けましょう！

発芽適温：25～30
生育適温：昼間25～30
 夜間20～23



温度を確保出来ないと・・・

発芽、生育不良
立ち枯れのリスク大

→低温時期、連作、排水不良で多い

苗立枯性病害について・・・4つの糸状菌が関与している。

- 1 苗立枯病（リゾクトニア属、ピシウム属）
折れるように倒れる
- 2 疫病（フィトフトラ属）
地際が褐変する
- 3 立枯病（フザリウム属）
縦に黒いすじが入る

対策

連作しない。
防風ネット等による風対策。
排水対策を徹底する。
発芽後はかん水を控える。
播種前にユニフォーム粒剤の散布。

早期定植栽培を行う場合は**トンネルやマルチで保温**する必要があります

支柱を挿し、杭を打ち込む



ハウスバンドを支柱に掛ける



支柱の間隔が広すぎると・・・
降雨でトンネルが潰れる危険性があります。

ビニールを張る



ハウスバンドを斜めにかけて、ビニールを抑える



ハウスバンドの代わりに土にビニールを埋めて固定しても良い

気温に応じてビニール開閉

3月中旬頃、ビニールを撤去する





みゃーくの味加工推進協議会 組織活動紹介



みゃーくの味加工推進協議会は、15起業15名(うち多良間会員3名)の会員が加入しています。農海産物の付加価値向上、起業者間のネットワーク形成を目的に、女性加工起業者で様々な組織活動に取り組んでいます。

意見交換会

- ・総会 ・定例会
- ・勉強会,研修会

技術継承・地域貢献

- ・郷土料理講習会(なんこう)
- ・小学校での食育(パルダマ)

イベント参加(販促活動)

- ・とうがんの日(あたらす市場)
- ・宮古の産業まつり

～沖縄県農業機械士協議会宮古支部の活動紹介～

農業機械士協議会とは、農業機械士養成研修に合格し県知事から認定を受けた“農業機械士”の組織で、令和5年1月時点で69名の会員が在籍しています。農作業安全啓発を進め、農業機械の知識・技術向上、情報交換を促進し、宮古地域における農業の近代化と生産増大及び経営安定に資することと、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。

情報交換・勉強会

視察・技術研修

農作業安全啓発

農業機械士に興味がある方、養成研修を受けたい方は、農業改良普及課 農業機械担当までご連絡ください。